

(3) 羽黒地域

羽黒地域は、出羽三山とその門前町、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン※で高い評価を得た羽黒山杉並木や国宝羽黒山五重塔、史跡松ヶ岡開墾場など、歴史的価値の高い観光資源に恵まれた地域です。

2つの日本遺産がある地域として魅力と価値を高め、少子高齢化や人口減少が進行する中でも、地域資源を活用して、活力にあふれる地域づくりを進めています。

観光面では、羽黒地域の歴史文化を広く発信し、国内のみならず、海外から訪れる観光客にも羽黒らしい自然や歴史、精神文化に触れる空間を提供できる観光づくりに取り組みます。

農業面では、耕畜連携による土づくりを推進し、農林作物の付加価値を高めます。また、地域特産物の販売方法の検討を進め、魅力ある農業の発展を支える人材育成や確保に取り組みます。

地域づくりでは、住民が安心して暮らすことができるように、住民主体の活動を支援するとともに、防災や地域交通対策などの地域課題の解決に向けて行政と地域が連携して取り組みます。

また、自然にふれあい、歴史・伝統文化の学びを通して郷土愛を育み、次世代を担う人づくりに取り組みます。

※ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン

フランスのタイヤメーカー、ミシュランが発行する旅行ガイドで、多くの国々の旅行者たちが、日本各地の魅力を体験できるような情報を掲載している。

ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

○施策の方向

手向門前町の修景整備や出羽三山精進料理の魅力発信など、門前町としての魅力向上のための取組を推進します。

また、史跡松ヶ岡開墾場については、蚕室などの歴史や魅力を発信する拠点としての保存や活用の整備を進めるとともに、松ヶ岡地域への支援を継続します。

このほか、インバウンドなどに対応するため、周辺の環境整備に取り組みます。

多言語対応の観光案内や二次交通※の検討を行うとともに、月山高原や映画村など羽黒地域全体の観光資源を活用した誘客・連携によって、通過型から周遊・滞在型の観光地への転換を目指します。

○主な施策

- ① 手向門前町の歴史的まちなみの整備推進、固有の食文化である出羽三山の精進料理の魅力発信、歴史的文化的価値の高い羽黒山杉並木の保全・継承など、地域資源を有効活用するための活動への支援を行い、交流人口の拡大を図ります。
- ② 鶴岡市歴史的維持風致向上計画などに基づき史跡内建造物の保全などを図るとともに、松ヶ岡地域が策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」の達成状況を検証し、地域が主体的に取り組む事業を支援します。また、インバウンドなどに対応するため観光案内などの多言語対応の充実を図るとともに二次交通*の検討を行います。
- ③ 月山ろくの広大な土地を活用した映画ロケ施設は、観光誘客や映画ロケに伴う経済効果が見込まれることから、映画を活用した誘客事業や映画ロケ誘致に対して支援を行います。
- ④ 庄内平野を一望できる月山高原エリアを有効活用し、豊かな自然と歴史的・文化的資源を結ぶモデルコースの構築・定着により、周遊・滞在型の観光による地域経済の活性化を図ります。

※二次交通 P〇〇参照

イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進

○施策の方向

羽黒地域の特産物や、気候や風土に適した収益性の高い農林作物の生産体制の確立、新品種導入や新たな栽培技術の導入等を支援するとともに、耕畜連携による付加価値の高い農業生産を目指します。

また、生産を支える多様な働き手の確保や、新たな販売方法の検討、地域農業の発展を支える人材育成に取り組めます。

○主な施策

- ① 地域農業を支える農業者の育成確保とともに、集積により耕作面積が拡大した経営体における補助労働力の確保に向けて、担い手の明確化と産業種別を超えた多様な働き手の確保に取り組めます。
- ② 農家個々の所得向上と農業産出額全体の拡大を目指し、羽黒地域の特産である果樹について優良品種の種苗導入を支援します。また、収益性の高い園芸作物の作付け拡大を図るとともに、月山高原エリア畑作団地で機械導入やほ場整備により生産が増えている小麦の販路拡大を支援します。
- ③ 鶴岡市羽黒高品質堆肥製造施設で製造する堆肥の施用を推進し、循環型農業による有機・特別栽培農作物の生産拡大を図ります。肥料高騰等に対す

る支援を行うとともに、地域で認定されている二つの日本遺産を活用して農
観が連携した新たな取組を推進していきます。

ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進

○施策の方向

防災、福祉その他の地域課題に対する、自治振興会と連携した取組に加え、次
世代を担う人づくりに向け、地域内の豊かな自然や地域の歴史文化を伝える学
習機会を提供し、郷土愛の醸成を図り、若者の定着、地元回帰を促進します。

また、住民活動の拠点施設である地域活動センターの計画的な整備、修繕など
を図り、子育て世代や高齢者のほか、全ての世代が利用しやすい施設整備の検討
に取り組みます。

さらに、地域住民が抱える課題が複雑化・多様化する中で、従来の支援体制で
はニーズへの対応が困難になってきていることから、地域住民の多様な課題に
寄り添う仕組みづくりを進めます。

高齢者などの交通弱者に対しては、買い物や通院時に利用する交通手段の確
保と充実に取り組みます。

○主な施策

- ① 自治振興会を中心とした地域運営への支援を行うとともに、地域活動や
防災の拠点となる地域活動センターの施設整備を検討をします。
- ② 地域の歴史・文化・伝統のほか自然や産業などを学ぶ機会を創出し、ふる
さとのよさを伝え、地域文化の伝承と郷土愛の醸成を図ります。
- ③ 地域の福祉関係機関と連携し、身近な地域で支えあう仕組みづくりを推進
します。
- ④ 交通弱者の交通手段を確保するために、現在運行している市営路線バスの
より利用しやすい運行方法を住民とともに検討し、さらなる利便性の向上と
利用者の拡大を図ります。また、利用者ニーズの多様化に合わせ、利用しや
すい移動手段についても検討します。

施策の成果指標（KPI）

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
羽黒地域の観光入込客数	—	700,600人 (2022年度)	1,029,400人 (2028年度)

(変更前のKPI) 月山・羽黒山の観光入込客数	737,200人 (2017年度)	608,100人 (2022年度)	800,000人 (2028年度)
羽黒地域の外国人宿泊者数	—	167人 (2022年度)	2,500人 (2028年度)

[設定理由]

既存観光施設の連携と情報発信力の強化によって羽黒地域の観光客数増加につながり、それに伴う地域内での宿泊数の増や消費行動の拡大が期待される。

[項目変更理由（上段）、項目追加理由（下段）]

従前の項目から、より広域的となる成果指標に変更する。また、今後、インバウンドの増加が見込まれることから、新たな成果指標を追加する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
堆肥散布量（羽黒町堆肥利用組合）	1,757t (2017年度)	1,939t (2022年度)	<u>1,964t</u> <u>※当初目標値</u> <u>1,810t</u> <u>(2028年度)</u>

[設定理由]

安全安心な農産物を求める消費者の志向に対応するには有機質堆肥の投入による有機栽培や減農薬や減化学肥料栽培の推進が不可欠であり、羽黒地域の特色である畜産業との連携によって環境保全型農業の推進に資する。

【目標値変更理由】

当初目標値を達成したことから、目標値を上方修正する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
小麦生産量（月山高原農地委員会）	—	32t (2022年度)	92t (2028年度)
(変更前のKPI) JAアスパラ部会（羽黒地域） の販売額	4,000万円 (2017年度)	711万円 (2022年度)	1億2,000万円 (2028年度)

[設定理由]

小麦の作付拡大によって、遊休農地の発生防止や市内における地消地産、輪作

による連作障害回避などの面で効果が期待される。

[項目変更理由]

アスパラガスは、伝染性の影響により、回復が困難なため、新たに取り組を進めている作物に成果指標を変更する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
地域活動センター利用者数(4地区合計)	41,842人 (2017年度)	29,573人 (2022年度)	41,900人 (2028年度)

[設定理由]

地域コミュニティ活動の支援住民が快適で安心して利用できるよう施設の整備や、子育てしやすい環境づくりを努めることにより、幅広い年齢層の利用につながる。

